

事業概要説明書 [1]			事業番号		1-10	
事務事業名		園芸組織強化対策支援事業		担当部名		農政部
事業開始年度		平成 20 年度		担当課名		農業振興課
実施方法		補助		担当係		園芸係
根拠法令等		園芸組織強化対策事業補助金交付要綱				
事業の概要	目的 〔 何のために 〕	宮崎市園芸振興協議会が実施する市内の野菜・果樹・花きの生産振興及び消費拡大を図るための各種取り組みを支援し、本市園芸農家の経営安定を図る。				
	対象・手段 〔 誰(何)に対して、何をするのか 〕	<p>〔対象〕 宮崎市園芸振興協議会 (野菜・果樹・花き農家で組織する農業者の団体) 会員数 1,215人 (野菜: 875人 果樹: 250人 花き: 90人)</p> <p>〔手段〕 園芸振興のために行う各種活動などの運営費を助成する。</p> <p><協議会の主な活動> ①先進地優良事例等の調査・研修 ②「園芸の祭典」…農産物の展示品評会や市内で生産される農産物の即売などを通して市民に対してみやぎの園芸生産の状況を知ってもらう。 ③「消費者交流会」…児童とその保護者を対象に、市内の農家視察及び農業体験や意見交換等を行い、農業への理解と消費拡大を図る。 ④「園芸だより」を年2回発行し、各種補助事業の案内や農薬の適正使用、農業用廃プラの適正処理などの啓発を行う。 ⑤台風等の自然災害発生時のボランティア活動の実施</p>				
	事業の必要性	依然として厳しい農業情勢が続く中、農業の振興と農家の経営安定を図ることは、重要な課題である。 市としては、生産者自らが、経営安定を図るために、意欲的に「新たな農業技術の導入」や「コスト縮減のための施設等の導入」、「食の安全性への対策」、「農産物の消費拡大」などに取り組めるよう支援する必要がある。				
コスト	平成23年度(予算)		人件費			
	直接事業費 (A)	3,000 千円	←	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数
	人件費 (B)	750 千円		正規職員	750 千円	0.1 人
	総事業費 (A+B)	3,750 千円		嘱託員	0 千円	0 人
平成23年度 直接事業費内訳		<p>協議会予算 5,000千円 市補助金 3,000千円 会員会費 1,395千円 JA助成金 450千円 その他 155千円</p> <p>支出内訳 消費宣伝活動(園芸の祭典、消費者交流会等) 2,000千円 部会運営費(各部会での先進地調査、研修) 1,995千円 広報紙作成: 400千円 その他(会議費、旅費、褒賞費等) 605千円</p>				

事業概要説明書 [2]			事業番号	1-10	
年度		平成22年度(決算)		平成23年度(予算)	
直接事業費		2,000 千円		3,000 千円	
財源	一般財源	2,000 千円		3,000 千円	
	受益者負担金	0 千円		0 千円	
	その他	0 千円		0 千円	
成果目標 〔 どういう状態 を目指すのか 〕	市内で生産された野菜、果樹、花きを広く市民にPRし、農業への理解を深めることにより、地元産の消費拡大を図る。				
成果実績 〔 成果目標の 達成状況等 〕	[状況]	想定した成果を得ている			
	[説明]	<p>① 消費者交流会は、児童とその保護者を対象に現地視察や意見交換会などを実施。参加者も多く、活発な意見が交わされている。</p> <p>② 園芸の祭典は、展示品評会のほか、アンケート抽選会やアレンジフラワー教室、地元野菜、果実を使った料理紹介及び試食、展示品の即売会などを実施し、多くの来場者に園芸作物のPRを行っている。特に、展示品評会の出展数は年々増えており、多くの会員に本協議会活動が浸透してきていると言える。</p>			
成果指標 〔 事業の実績 及び目標 〕	指標名 (下段:指標の説明)	単位	数値 (上段:目標 / 下段:実績)		
			平成21年度	平成22年度	平成23年度
	消費者交流会への参加者数	人	40	40	40
			45	60	
園芸の祭典の品評会への出展数	人	350	400	400	
		370	406		
事業の方向性 〔 事業の現状と 課題、今後の あり方等 〕	<p>組織については、平成19～20年にかけて旧3町域、平成22年には清武町域の生産者が、宮崎市園芸振興協議会に加入し、組織の一本化を図った。新会員などに対する本協議会活動の周知徹底を図り、会員が一丸となった生産振興及び消費拡大に必要な取り組みを引き続き支援し、農家の安定経営を図っていく。また、市と園芸農家の窓口となる本協議会との連携を一層強化し、生産者のニーズを適確に把握することにより、市政に反映していく。</p>				
特記事項 〔 参考情報等 〕	<p>【平成22年度と平成23年度の補助金の違いについて】</p> <p>宮崎市園芸振興協議会の事業期間は、9月から翌年の8月までとなっている。また、行政における事業期間は4月から3月までである。</p> <p>このため、行政年度に合わせた会計処理を行うために、平成22年度に限り、平成22年9月から平成23年3月までの2,000千円とし、平成23年4月から8月までの1,000千円は23年度予算(債務負担)となった。ちなみに平成23年度予算は前記の1,000千円と平成23年9月から平成24年3月までの2,000千円と合わせた3,000千円となる。</p> <p>よって、実質の補助金の増減はない。</p>				

園芸組織強化対策支援事業補助資料

【農業振興課】

1. 目的

本市農業の振興と園芸農家の経営の安定を図るために、生産現場における課題解決や地産地消による消費拡大を推進する園芸組織の活動を支援する。

2. 協議会のあゆみ

- 昭和31年 野菜生産者の組織として「園芸振興協議会」が発足
- 昭和32年 「宮崎市果樹振興協議会」発足
- 昭和38年 「宮崎市花き振興協議会」発足
- 平成3年 「園芸振興協議会」から「宮崎市野菜振興協議会」に改称
- 平成7年 野菜・果樹・花き振興協議会の組織統合により「宮崎市園芸振興協議会」発足 ⇒ 野菜部会・果樹部会・花き部会誕生
- 平成18年 平成18年1月1日：1市3町の合併に伴い旧3町域の加入が始まる。
(旧3町域の花き生産者11名、果樹生産者7名が加入)
- 平成19年 J A高岡支店果樹振興協議会会員133名、J A佐土原支店野振協会員200名、高岡支店野振協会員78名（胡瓜、トマト部会員）が加入
- 平成22年 平成22年3月23日：清武町との合併

3. 会員数、会費について（H23年）

	会名	会員数	会費
内訳	園芸振興協議会	1,215名	各部会で徴収
	野菜部会	875名	1,000円
	果樹部会	250名	1,000円
	花き部会	90名	3,000円

4. 主な活動内容について（H23年）

- ① 園芸作物消費宣伝活動（テレビCM等）
- ② 「園芸の祭典」の開催（農産物品評会、即売会等）
- ③ みやざき農林水産まつりへの参加（農産物のPR等）
- ④ 消費者交流会の開催
(小学生とその保護者を対象に現地視察・試食・意見交換等を実施)
- ⑤ 先進地視察研修の開催（各部会ごとに実施）
- ⑥ 「園芸だより」の発行（協議会活動報告や各種補助事業の案内等）
- ⑦ 台風等の自然災害発生時のボランティア活動の実施

「園芸の祭典」

1 目的

宮崎産の野菜、果樹、花きを市民に広くPRし、産地の振興を図る。

2 日時 平成23年 3月12日(土) 10:00~16:00

3 会場 イオンモール宮崎 2階 イオンホール

4 内容 野菜・果樹・花きの展示品評会

【実績(第17回)】合計406点 (第16回 合計370点)



花きの展示品評会



市内産野菜・果物を使った生春巻きの試食

「消費者交流会」

1 目的

市内産野菜・果物の現地見学、農業体験、試食会、農業に関する研修および意見交換会により、安全・安心な宮崎の農産物のPRと消費拡大を図る。

2 日時 平成23年6月5日(日) 9:00~15:00

3 会場 宮崎市内 現地 ~ 宮崎観光ホテル

- 4 内容
- 1) 産地見学：野菜・果樹・花き
 - 2) 昼食：宮崎産の農産物を使った料理の試食
 - 3) 意見交換会



キュウリ栽培の現地見学



消費者との意見交換会